

第3学年 国語科学習指導案

日時 平成27年10月29日(木) 公開授業Ⅰ
児童 3年5組 男子15名 女子18名 計33名
指導者 高橋 淑子

1 単元名 場面の様子を想像し感想ブックを作ろう
中核教材：「ちいちゃんのかげおくり」

2 単元について

(1) 教材について

本単元では、学習指導要領「C 読むこと」の指導事項ウ「場面の移り変わりに注意しながら登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと」、指導事項エ「細かい点に注意しながら読み、場面をまとめたり、文を引用したりして感想をまとめること。」について主に扱い、主となる目標を「場面の移り変わりに注意しながら読み、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して読み感想を書くこと。」と設定した。

教材「ちいちゃんのかげおくり」は、激しい空襲の中で家族と離れ離れになり一人ぼっちになっても、いつかは家族みんなで幸せに暮らせる日が訪れることを信じながら幼い命を失った小さな女の子を描いた物語である。2つのかげおくりが対照的に描かれており、その間に周りが急激に変化する様子、その中で登場人物の姿を会話や行動から想像し感想を書くことができる。これは、第4年での「感想文を書く」学習、第5学年での文章を読み自分の考えを広げたり深めたりする学習へとつながっていく。

(2) 児童について

2年生で物語の「あらすじ」をまとめることについて学習し、登場人物がどんなことをしたのかどんな気持ちだったのかなどをまとめた。3年生の「もうすぐ雨に」では、組み立てに基づき、人物の言動や気持ちの変化に着目して、読みその感想を交流し合うことで、感想を表す言葉を増やし、文章で表現する学習をしてきた。

本単元では、場面の様子を想像しながら、その移り変わりに着目して読み、段落相互の関係や場面のもつ働きについても押えさせたい。また、本文中から根拠となる文章を引用し、自分が引きつけられたことへの感想がもてるようにしていきたい。

(3) 指導にあたって

本単元では、「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読む力」を身に付けるため、「場面の感想を書きため感想ブックを作ろう。」という言語活動を位置付け、心にひびいた感想交流をゴールに、読み進めるという見通しをもたせる。

教材文の「ちいちゃんのかげおくり」では、「2つのかげおくり」を比較しその間に何が変化したのかを、場面の移り変わりに即して叙述が絵として思い浮かぶように想像して読み取らせ、場面の振り返りで想像したことや感想を「感想ブック」に書き溜めていく。「感想ブック」の中から中心となる感想はどこかを考え「はじめ」「中」「終わり」の「中」として、感想文にまとめ、それを交流し合い互いの感想の違いにも気付かせていく。

3 単元の目標

- 場面の移り変わりに着目して読み、進んで感想を書こうとしている。 【国語への関心・意欲・態度】
- ◎ 場面の移り変わりに注意しながら読み、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して感想を書くことができる。 【読むこと】
- 感想を表す言葉を知り、本や文章を読み感想を書くために用いることができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

4 指導計画 (場面の様子を想像し感想ブックを作ろう：11時間扱い 本時5/11)

次	時間	学 習 活 動
一	1	感想文を書いた経験や「感想ブック」のモデルを通して、単元の課題意識を高める。
	1	あらすじをつかみ、初めの感想を伝え合い学習の計画を立てる。
二	1	2つの「かげおくり」を比べて、共通点や相違点を話し合う。
	3	2つの「かげおくり」の間に、ちいちゃんや家族に起きた事柄やその時の心情を絵として浮かべ、心に響いたことを「感想ブック」に書く。(本時第2時)
	2	最後の場面の役わりや場面の移り変わりを表す言葉や文、人物の性格をまとめる。
三	1	感想文の書き方を知り、はじめ・中・終わりの構成を考える。
	1	一番心を打たれた場面についてまとめ、感想文を書き「感想ブック」を完成させる。
	1	感想文を読み合い交流する。単元の振り返りをする。

5 本時の指導について

(1) 目標

突然の空襲の中での登場人物の気持ちを、会話文や様子を表す言葉から想像することができる。

(2) 評価規準

観 点	B おおむね満足できる	B に到達させるための手だて
読む能力	空襲の中で、離れ離れになっていく登場人物の心情を想像している。	出来事の様子、行動や会話に着目させその時の心情を想像させていく。

(3) 指導の構想

見通す段階で、物語の内容が大きく動き出す場面であることを意識させ、「激しい空襲の様子」「わが子を守ろうとする必死なお母さんの姿」「一人ぼっちになるちいちゃん」について読み進める。

振り返りでは、一番心に響いた事柄について、叙述から登場人物の心情を想像させ、文章で表現させたい。

(4) 展開

段 階	学習活動	形態	○教師の働きかけと指導上の留意点 ●評価の観点（方法） ☆見通す・振り返る活動
導 入 5 分	1. 前時の学習を想起する。 2. 本時の学習課題を把握する。	全	☆2つのかけおくりの間で大きく変化する場面で、ちいちゃんや家族の様子や気持ちを想像することを確認する。
	空しゅうの中のちいちゃんと家族の様子や気持ちを、会話文や行動からそうぞうして書こう。		
展 開 25 分	3. 課題解決の見通しをもつ。 4. 課題を解決する。 (1) 学習場面を音読し出来事や行動の流れをつかむ。 (2) お母さんの行動や会話から、空襲や周りの様子を想像し発表する。 (3) ちいちゃんに起こったことをあげ、その時の様子や気持ちを想像し発表する。	全 個 全 個 全	☆会話文や行動を表す言葉から、ちいちゃんやお母さんの様子や気持ちを想像し、心にひびいたことを書くという学習の流れであることを確認する。 ○空襲の様子、お母さんやちいちゃんの行動・会話に注意して読ませる。 ○会話文の音読や、2人を連れて逃げる様子を絵として思い浮かべることで、空襲の様子やお母さんの必死な思いを想像させる。 ○「お母ちゃん」の音読や、様子を表す記述に着目することでちいちゃんの心細さを想像させる。 ●【読むこと】 出来事に即して登場人物の会話や行動に注目して読み、様子や気持ちを想像して読んでいる。(観察・発言・言葉の記述)
終 末 15 分	5. 学習を振り返り、想像したことを書く。	個	☆学習を振り返り、一番心に響いたことについて文章で表現させる。
	今日は、行動や会話文に注目して、登場人物の様子や気持ちを想像しました。 一番心にひびいたのは、 ① ほのおのうずが追いかけてくると時、二人をまもろうとひっ死になるお母さんの気持ちです。 ② 家族とはぐれてしまうちいちゃんのさびげ声や知らない人と一人でねむるときの気持ちです。 べつの場面でも、行動や会話に気を付けて想像していきたいです。		
	6. 次の時間の見通しをもつ。	全	○一人ぼっちのかけおくりまでのちいちゃんについて学習することを確認する。